




Local

Food

Project



地域食農連携プロジェクト (LFP) 推進委託事業

ローカルフードプロジェクト [LFP]

令和3年度 取組事例集

持続可能なビジネスモデルの創出に向けて



農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部 企画グループ

ご挨拶

04	I. 事業の概要 Local Food Project (LFP) とは 採択地域一覧
07	II. 地域の取組紹介
18	III. LFP推進のポイント LFPの推進項目ごとのポイント整理 取組のプロセスモデルとLFP推進事業の推進項目
24	IV. クラウドファンディングの取組
27	V. 関係者インタビュー 地域の未来に向けた私の創発視点
30	VI. LFPロゴマーク
31	付録 LFP推進のための考え方や検討

我が国の食品産業は、農林水産物の主要仕向け先であり、農林水産物に付加価値を付けて消費者に共有する役割を担っており、地域の経済と雇用を牽引しています。一方で、国内市場の縮小と海外市場の拡大、地球環境の持続性確保への配慮、多様化する消費者ニーズへの対応など様々な変化に対応した、新たな価値を生み出す取組が求められています。

このため、令和3年度から、新たに地域食農連携プロジェクト(LFP)を推進し、地域の農林水産物を活用した、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した持続可能な新たなビジネスモデルを創出する取組を支援してきました。

地域食農連携プロジェクト(LFP)は、地域の食品産業を中心とした多様な事業者が、社会的課題の解決という共有価値によって協働し、イノベーションを創発した新たな商品やサービスを生み出し、消費者に商品等の価値に加えて、社会的価値を提供することで、顧客ニーズの創出や新たな価値を生み出す新しい取組です。

この新しい取組を行うにあたり、中央LFPを構築し、コーディネーターを派遣して、都道府県の取組を伴走支援してきましたが、地域の関係者や事業者の皆様の意欲的な取組により、これまでの地域資源を活用したビジネスを昇華した、いくつもの魅力的な取組が生まれたものと考えています。

本事例集は、令和3年度の地域食農連携プロジェクト(LFP)を振り返り、地域で実践された取組から見てきた新たなビジネスモデル創出のポイントをまとめたものであり、今後、地域食農連携プロジェクト(LFP)に取り組む際の参考や積極的なチャレンジのきっかけになれば幸いです。

農林水産省大臣官房
新事業・食品産業部 企画グループ





1. 事業の概要

Local Food Project (LFP) とは

これまで全国の各地域において、農林水産物等の地域資源を活用した6次産業化や農商工等連携の取組、食品産業による農林水産物の利用促進の取組が進められてきましたが、消費行動の変化等に対応する新たなビジネス展開を促進することが急務となっています。

本事業は、都道府県が「地域食農連携プロジェクト(LFP(ローカルフードプロジェクト))推進事業」を活用して、地域の食と農に関する多様な関係者が参画したプラットフォームを形成し、地域の農林水産物等の地域資源を活用した持続的なローカルフードビジネスを創出する取組を支援するものです。資源の再評価・体制構築・マッチング・事業組成・事業戦略検討・マーケティングの一連の流れでハンズオン支援を実施します。

LFP推進事業が目指すものは、これまで地域で展開されていた6次産業化や農商工等連携、地産地消、食品産業における地域の農林水産物の利用促進の取組昇華です。すなわち、地域内外の多様な関係者の協働を通じた産業連携や異業種等の技術や知の集積の融合による、イノベーションの誘発、消費者ニーズや消費行動の変化に対応するバリューチェーンとサプライチェーンの再構築に取り組みながら、地域経済の発展、社会的課題解決と経済的利益の両立、持続可能な地域産業の創造につながる新たなビジネスモデル(ローカルフードビジネス)の創出を目指しています。

事業の概要

目的

地域の将来の展望を見据え、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指して、ローカルフードビジネスを創出する

効果

LFPプラットフォームに参画した地域内外の多様な事業者や異業種等のケミストリーによって、ビジネスにイノベーションを創発する

戦略

LFPの目的や事業内容を踏まえ、イノベーションを備えたローカルフードビジネスの構築を検討する

社会的課題解決と経済的利益の両立に向けて

経営戦略

さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業が、本来の事業展開力を活かして、社会の問題も解決し、利益も上げる新しいビジネスが展開されている

ビジネスチャンス

社会的課題への対応は、他者が対応していないが故に、顧客ニーズの創出、競争力強化につながるビジネスチャンスとなる

協働

社会的課題の解決に向けた製品やサービスの提供は、社会的課題の解決という共通価値によって、企業間または異業種間の協働が促進され、イノベーションを創発する

持続可能

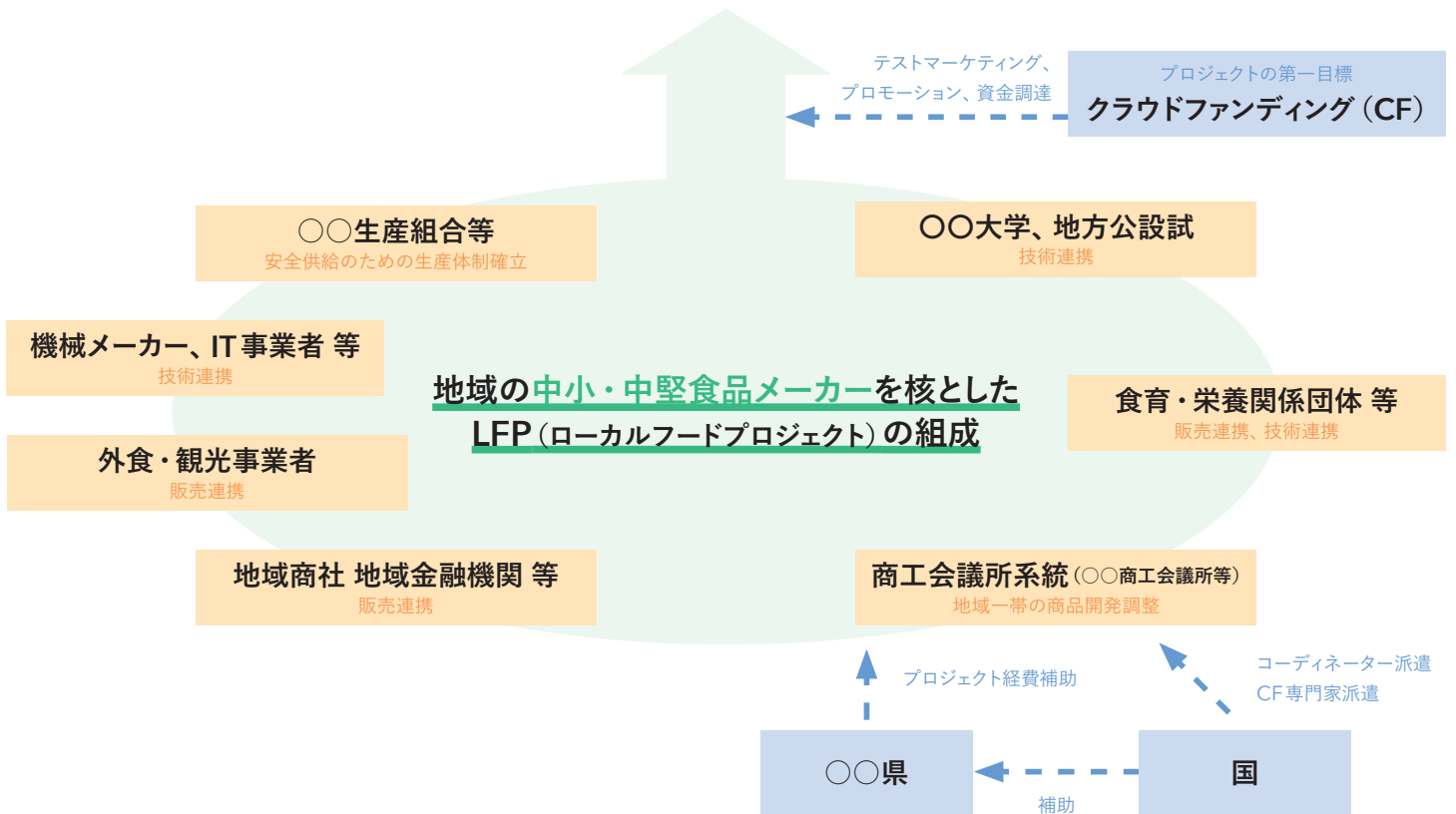
LFPは、社会的課題解決と経済的利益の両立に向けてローカルフードビジネスを創出する体制を構築するものであり、より良い社会、持続可能な未来を創造するもの

事業イメージ



地域に新しい価値（イノベーション）を創出し、「地域が輝く」

- ・社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した持続可能な新たなビジネスモデルを創出
- ・消費者ニーズの多様化や持続可能な食料供給への対応
- ・地域から全国規模のサプライチェーンモデルを構築



事業の仕組み・流れ

地域食農連携プロジェクト推進事業（地域）

都道府県が、持続可能なローカルフードビジネスを創出するため、地域の食品関連企業等のネットワークを構築して行く、戦略の検討やプロジェクトの試作品製造等の取組を支援

地域食農連携プロジェクト推進委託事業（中央）

地域食農産業連携プロジェクト (LFP) の戦略の検討・実行のためのコーディネーターを派遣、クラウドファンディングの活用を支援



詳しくはローカルフードプロジェクト (LFP) ホームページへ

<https://www.lfp-c.jp/index.html>

採択地域一覧

地域	戦略のテーマ
北海道	気候変動等の生産リスク分散と資源ロス軽減のため、新たなビジネスクラスターをめざす
岩手県	農山漁村をまるごと活かして新しい価値を創造し、地域を次世代につなぐ
宮城県	「ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システム」で地域経済を好循環化
秋田県	産地化が進む品目を活用した業務用商材の開発・提供で、調理の時短を提供
埼玉県	見沼田んぼの休耕地問題解決を軸とした新名物と地域連携体の創出
長野県	長野県産きのこを活用したヘルシー食品の開発・販売
静岡県	フードロス削減をメッセージとしたミールキットづくり
新潟県	発酵シーズを活用した県民の健康増進に寄与する商品づくり
富山県	果物を通じて、地域ぐるみで子育て世代の多様な関係性を構築する
岐阜県	消費者参加型の商品開発による地域共創ビジネスの構築
三重県	資源・技術・知恵が融合し持続可能な地域をつくる循環型経済の構築
京都府	新たな需要創出に向けた京都ならではのフードビジネスの構築
大阪府	大阪・関西万博に向けて、大阪産（もん）で府民を健康に！
奈良県	他分野、異業種との連携により主要産品である柿の持続可能な未来を描く
岡山県	地域資源（岡山甘栗）を活用した新商品開発連携モデルづくり
山口県	多様な主体の連携により、地域資源の高付加価値化や地域経済の活性化を図る
徳島県	世界へ発信する伝統的な農業システムの継承と価値を共有する仕組み作り
香川県	県産麦の多様性と産業の広がりを最大限に活かす
福岡県	果物の魅力を最大限に活かす生産・加工・販売の連携体制の構築
宮崎県	市場の変化に備えるため、流通のリスクに強い販売網・商品を開発
鹿児島県	鹿児島県が誇る「食」を百年続く循環型ビジネスモデルへの転換に挑戦